

早期発見が大切！

ワールド健康保険組合

乳ガンは女性ホルモンが大きく関与していると言われ、生活の欧米化により、日本でも患者数が近年増加傾向で現在女性のガンの1位(25人に1人が乳ガン)になっています。

予防には定期的なチェック(自己触診・検診)が重要！

今年度の乳ガン検診では、ハイリスクとなる40歳以上の方はマンモグラフィーが基本項目に含まれます。より詳しい検査が提供できるようになりましたので、是非受診ください。

～マンモグラフィーって何？～



マンモグラフィーって何？

乳ガンを診断する方法のひとつで、乳腺・乳房専用のレントゲン撮影です。



マンモグラフィーでは、触っても分からないような早期の乳ガンはもちろん、しこりを作らないタイプの乳ガンを白い影(腫瘤影)や非常に細かい石灰砂の影(微細石灰化)として見つけることができます。悪性の病気だけでなく、良性ものも見つかります。



どうやって撮影するの？

乳房をは挟みながら圧迫して撮影します。



痛い？

挟むことにより多少の痛みを伴いますが、これは病気を見つける上でとても大切なことです！

どうして圧迫しなければいけないの？



乳房を圧迫しながら薄く均等に広げます。こうすることによって、少ないレントゲンの量で乳房の中をより鮮明に見ることができます。ちなみに、マンモグラフィーで受ける放射線量は、東京-NewYork間の飛行機の中で受ける自然放射線(宇宙からの放射線量)の約1/2程度とされています。

注意：妊娠中や妊娠の疑いのある方、授乳中の方はマンモグラフィーを受けられません。

忙しい毎日……
でもだからこそ、
検診の機会を利用して、
年に一度は
ご自分の身体を
ふりかえってみませんか？



女性の健康をサポートする情報満載！

健保HP「女性のからだオープンカフェ」

<http://www.world-kenpo.com>

ワールド健康保険組合

保健師

TEL 078-302-8185